

# 株式会社フレックス

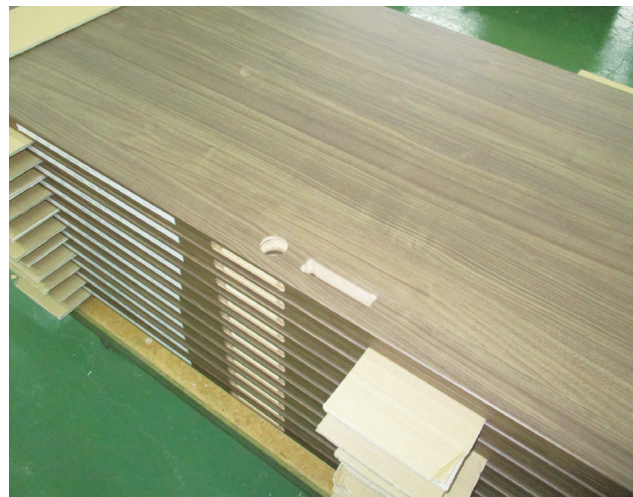
大館市花岡町字前田40-28

## 高精度NCドア加工機の導入により大手サプライヤーからの木製内装ドアの供給増加要請に対応

【事業計画名】新規NC加工機導入による生産力増強・改善事業



導入したNCドア加工機



ロック加工を施した仕掛品の例

### 取り組みの経緯

フレックスは、マンション用木製内装ドアの生産を主力とするドアメーカーである。首都圏のマンション用ドアの大量供給可能な製造業者が、国内4社の寡占体制となりつつあるなか、大手サプライヤーである主要顧客からは納期対応力や品質面が高く評価され、首都圏マンション用ドアでは25%強のシェアを誇る。

首都圏のマンション需要に加え、業界として震災復興住宅や東京オリンピック開催決定など、中長期的な好材料もあったため、主要顧客からは供給能力のさらなる増強を求められていたが、NC加工機的能力不足や力作業、それに起因した従業員の身体的負担増加などの課題があり対応できずにいた。

こうした課題を解決するため、高機能NC加工機導入による生産体制の整備と身体的負担の軽減を目的として本事業を計画した。

### 実施内容

マンション用ドアは、デザイン性の高まりからドア表面に装飾となる溝をつける目地加工が増えていたほか、より大型で重厚感のあるデザインが求められ、作業員の身体的な負担は増大している。また、ロック加工（ドアに取り付ける金具をはめるための中抜き加工）の加工機の処理能力は限界に近く、さらにロック・目地加工は各々別の加工機で処理していたため、効率的な生産体制とは言えない状況であった。

そこで、ロック・目地の同時加工に加え、角ノミ対応（ミゾの直角加工）も可能な新規NC加工機を導入した。全ての加工が1台に集約され、作業負担が大きく軽減したほか、生産ラインの整備や生産管理のノウハウの蓄積も進んだ。効率的な生産体制が整ったことで、付加価値の高いドア生産に人員を集中投入でき、加工能力の向上にもつながった。

### 事業の成果

加工作業の集約により、機械への製品投入、取り出し回数が減り、生産性は以前に比べ14%程度向上した。また、日当たりの加工時間を45分短縮でき、恒常的な時間外労働も減少した。

効率的な生産体制の整備、時間外労働の削減は離職率の低下につながった。これまで、最大10名近くいた年間の退職者が1名程度まで改善し、定着率が高まっている。同社は若手や女性の比率が高い職場（女性比率30%）であるが、離職率の低下は技術伝承にも良い影響を与えている。新型NC加工機は県内同業他社では導入されていない設備であり、優位性も高い。



目地加工を施した製品例



こども園向けの製品例(クマのドア)



高級マンション用特殊ドアの製品例

当社は先代がはじめた襖の芯の生産から事業拡大し、今日に至っています。時代の変遷にあわせ、生産品目は襖の芯から内装ドアに切り替わりましたが、内装ドアは襖の生産技術を応用する形で確立したものです。

今回の補助事業により、生産体制の整備、時間外労働の削減が進み、従業員の定着率が高まる好循環が生まれました。引き続き機械化を促進できる部分への設備投資をはかり、従業員が働きやすい職場づくりを進めたいと考えます。



代表取締役  
野村 幸三郎さん

### 今後の活動予定

オリンピック後の住宅不景気を懸念する声があるが、生産改善推進室の野村氏は「大手ゼネコンはオリンピック関連施設に掛かりきりで、大型マンション需要に対応し切れていない。オリンピック後の方がマンション建設の見通しは明るいと見ている。これに備え、更なる機械化や外注している特殊作業の内製化を進めたい」と語る。

また、加工能力の向上を背景に大手サプライヤーから高級ホテルなどへの耐火ドア生産依頼も増加している。「ドア生産メーカーとしての認知度が高まっており、デザイン性に優れた付加価値の高い製品の創出で高級ドアメーカーとしての地位を確立したい」と語る。



## 株式会社フレックス

|      |                 |
|------|-----------------|
| 代表者  | 代表取締役 野村 幸三郎    |
| 設立   | 平成元年4月          |
| 資本金  | 4,500万円         |
| 従業員数 | 90名             |
| 業種   | 木製品製造業(木製ドア)    |
| TEL  | 0186-46-2161    |
| FAX  | 0186-46-2170    |
| Eメール | door@frex.co.jp |